

臓器提供や臓器移植についてみなさんがどう考えているのか 家族とよく話し合ってみましょう

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

臓器移植に関するお問い合わせを受け付けています。

(公社)日本臓器移植ネットワーク

☎0120-78-1069 (平日9:00-17:30)

ウェブサイトにもさまざまな情報が掲載されています。

臓器移植 検索 <https://www.jotnw.or.jp/>



眼球(角膜)の移植についてはこちらまでお問い合わせください。

(公財)日本アイバンク協会

TEL.03-3293-6616 アイバンク 検索 <https://www.j-eyebank.or.jp/>



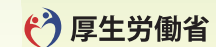
いのちの贈りもの



グリーンリボンは、
移植医療のシンボルです。

INDEX

臓器移植ってなんだろう？	1
移植が必要な患者さんはどれくらいいるの？	1
脳死と心臓死	2
考えよう。話し合おう。	3
あなたは考えたことがありますか？	4
臓器を提供した人の家族の話	5
臓器移植を受けた人の話	5
臓器提供の意思表示	6



臓器移植ってなんだろう？

人間のからだの中には、心臓・肺・肝臓・腎臓などの臓器があり、それぞれが決められた仕事をしています。

でも、薬や手術では治せないほど臓器が機能しなくなった時、亡くなった方のまだ健康な臓器と交換することで元気なからだを取り戻

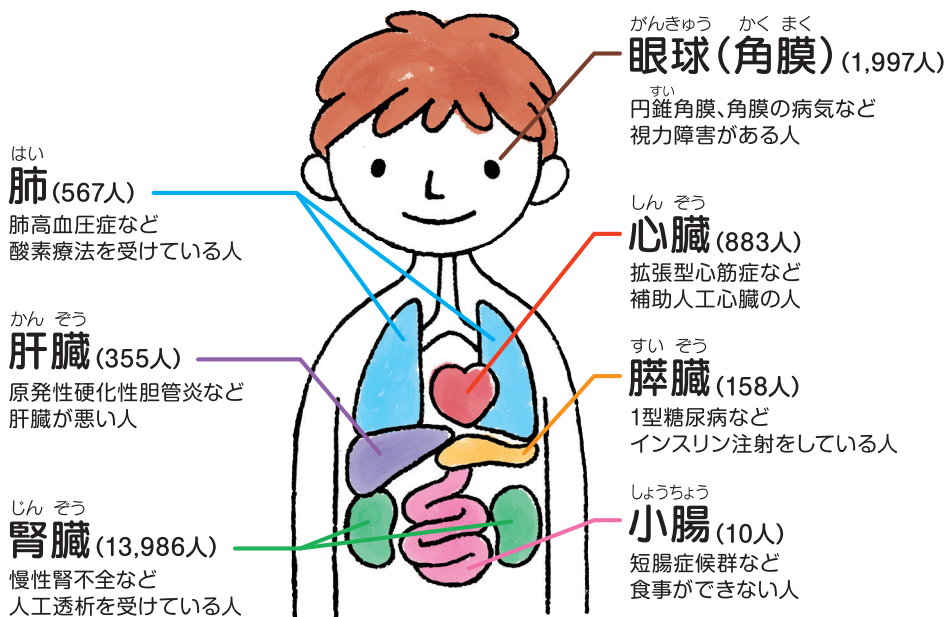
す治療法が「臓器移植」です。臓器を提供する人を**ドナー**といい、移植を受ける人を**レシピエント**といいます。



移植が必要な患者さんはどれくらいいるの？

臓器移植ネットワークとアイバンクに登録できる臓器と主な病気

(令和5年7月31日現在の移植希望登録者数)



※(公社)日本臓器移植ネットワーク及び(公財)日本アイバンク協会調べ

脳死と心臓死

人が臓器を提供する場合の「死」には、2種類あることを知っていますか？

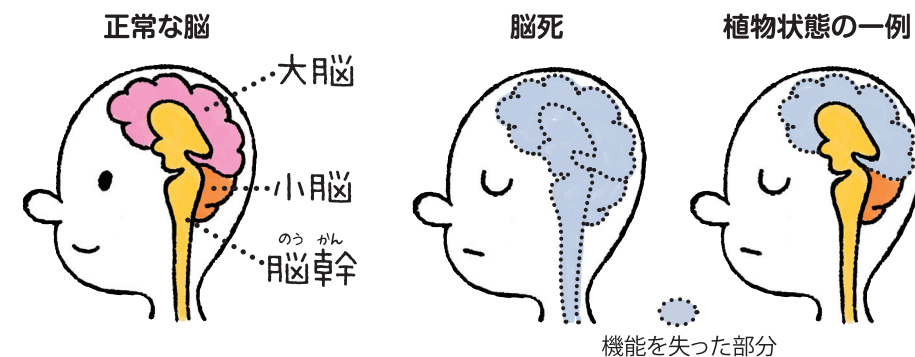
1つは、心臓が止まって血液が流れなくなる「**心臓死**」です。こうなった人のからだは、だんだん冷たくなっていきます。心臓死の場合に提供することができる臓器は、腎臓・膵臓・眼球です。

もう1つは、「**脳**」が機能しなくなる「**脳死**」です。事故や病気などで脳が傷ついて、すべての機能を失ってしまうと、意識がなくなり、呼吸は止まってしまいます。しかし、機械を使って、酸素を肺に送ると、心臓

はしばらく動き続け、このとき「からだはあたたかい」状態です。しかし、一度「脳死」の状態になってしまうと、もとの元気な姿にもどることはなく、やがて心臓も止まってしまう。多くの国々では、脳死は人の死とされています。日本でも1997年に臓器移植法(臓器の移植に関する法律)ができ、**脳死で臓器を提供する場合に限り、脳死を人の死とすること**になりました。

脳死の場合に提供することができる臓器は、心臓、肺、肝臓、腎臓、膵臓、小腸、眼球です。

正常な脳、脳死、植物状態の一例



意識がなく、脳死と同じように見える植物状態は、**脳幹**の機能が残っていて、自分で呼吸できることが多く、回復する可能性もあり、脳死とはまったく違います。

考えよう。話し合おう。

もし、自分や家族が臓器移植により命が助かるかもしれないとしたら、「臓器移植を受けたい」ですか、それとも「受けたくない」ですか？

もし自分や家族が死に直面したとき、「提供できる臓器をあげたい」ですか、それとも「あげたくない」ですか？

どれも大切な「自分の気持ち」で

す。正解も不正解ありませんが、「あなた」はどうですか？よく考えてみましょう。

また、**本人の気持ちが分からない場合は、臓器提供をするかどうかは残された家族だけで決めることになりません。みなさんがどう考えているのか家族に伝え、家族とよく話し合っておくことが大切です。**

よく話し合ってみましょう



どの気持ちも守られます

「移植医療に関する世論調査」※
(令和3年9月 内閣府大臣官房政府広報室)

あなたは、これまでにご家族や親しい方のうちあなたかと臓器提供について話をしたことがありますか。

話をしたことがある 43.2% 話をしたことがない 56.2% わからない 0.6%



※調査報告書は内閣府ホームページで公表しています。https://survey.gov-online.go.jp/r03/r03-ishoku/index.html

あなたは考えたことがありますか？

みなさんは「死」について考えたことがありますか？

つい、さっきまで元気だった人が、交通事故で死んでしまうかもしれません。何かのきっかけで病気が急に悪くなり、それが死につながるってしまうこともあります。

もし、交通事故や病気で死んでしまっても、いくつかの臓器が健康

な状態だったら？その健康な臓器は、臓器が機能しなくなったために苦しんでいる人、死と向き合っている人に提供することができます。

どんなに健康な人にも、残念ながら寿命があり、いつまでも生き続けることはできません。いつかは「死」がやってきます。

脳死で臓器を提供した方の人数

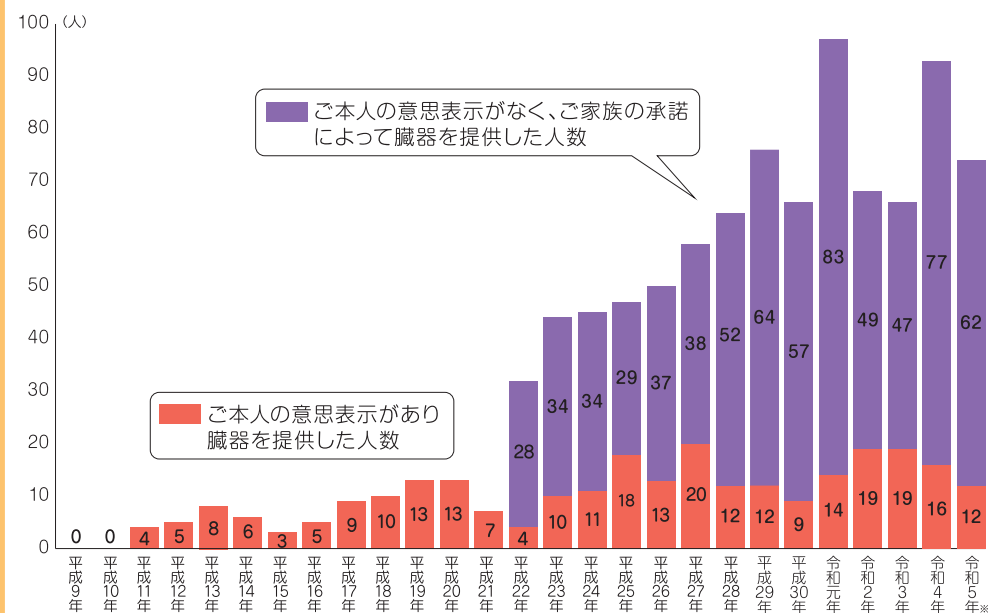
平成9年10月～令和5年7月

合計963人

ご本人の意思表示がなく、ご家族の承諾によって臓器を提供した人数

691人

平成22年から、ご本人の意思が不明でも、ご家族の判断によって臓器の提供ができるようになりました。



※令和5年7月31日現在

